

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M313H202		グローバルヘルス・セキュリティ (Global Health Security)					先進領域融合科目群							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	医学部先進医療科学科	前期	木3	日本語		単独						
担当教員	氏名 斉藤 功													
	E-mail saitoi@oita-u.ac.jp 内線 5735													
授業の概要	公衆衛生学の役割はグローバルヘルスの視点から様々な新たな課題に直面し、拡大している。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大、気候変動にともなう大規模な災害発生、社会的格差がもたらす健康への影響など、健康危機管理の再構築が求められている。本授業科目では公衆衛生学（疫学を含む）の基本的な知識と技術を修得し、世界で起きている新たな健康課題に対してどのように組織的・科学的に対応すべきか解決できる能力を涵養する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	公衆衛生学に必要なとされる基本的な知識を習得する							○						
目標2	疫学的な指標を用いてグローバルヘルスを俯瞰することができる。									○				
目標3	課題解決のために必要な情報を精査し活用できる能力を身につける。											○		
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度（計10）								6		2		2		
授業の内容														
1	グローバルヘルス・セキュリティ概論（人口統計と健康水準）													
2	公衆衛生とは：健康モデルを理解する（公衆衛生の意義）													
3	我が国における健康政策のあゆみ：健康課題から健康政策へ													
4	我が国における感染症対策のあゆみ：感染症法から検疫まで（衛生行政）													
5	疫学の考え方（疫病の成り立ちと予防法、疫学調査の現状と課題）													
6	疫学指標													
7	生活習慣病の疫学													
8	感染症の疫学：基本的な考え方（衣食住と健康）													
9	疫学指標の応用：様々な分析から流行を読み解く（疫学と疫学的分析法）													
10	気候変動と環境・健康への影響（気候変動と公害の歴史）													
11	近年のグローバル感染症の動向（国際保健）													
12	国内外の社会的格差と健康課題													
13	我が国の健康危機管理対策（健康の保持増進と予防医学）（生活環境・労働環境の保全）													
14	国際的な健康危機管理対策の現状													
15	まとめ（公衆衛生学）													
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	小テストの実施				工	そ 夫 の 他 の						
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修													
	事後学修													
	想定時間合計													
教科書	講義資料は独自に作成して配布する。													
参考書	国民衛生の動向（最新版）													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト		20%	○									
	筆記試験		80%	○	○	○							
注意事項													
備考													
リンク													
			URL										
担当教員の 実務経験の有無			○										
教員の 実務経験			医師、産業医、社会医学系専門医・指導医、大分県環境審議会委員、大分県公害審査会委員										
実務経験を いかした教育内容			医師、公衆衛生専門家として近年の社会的な状況を踏まえ最新の情報を取り入れて講義を実施する。また、大分県での危機管理や環境への取り組み事例などを適宜講義の中に組み入れる。										